

運転士用タブレットなどの安全問題に対して

中部運輸局に要請行動

会社との交渉では改善されない問題の解決を要請！！

3月22日、静岡地本と名古屋地本は合同で中部運輸局に要請行動を行いました。今回は『タブレットの設置により運転台からの視界が狭まる問題』『運転中にタブレット操作を行う問題』と『乗務員の泊まり行路における睡眠時間の問題』『高齢者の運転の問題』の4つの問題をJR東海会社に指導してもらうように要請しました。

組合からの問題提起は、両地本の3名の方が、それぞれの持ち味を出しながら、短い時間の中で要点を適確に伝えました。

運輸局の担当者からは、説明に対し多くの質問が出され、予定の時間を超えて担当者からの質問と組合からの説明が続きました。担当者からは「ワンマン車両でホームミラーが見えない問題」や「通告券記入での前方注視ができない問題」「タブレットが未だに試使用の状況」など適確な質問がありました。

最後に静岡地本植松委員長から、職場の声を聞いてもらった感謝とタブレット導入を改めるように会社に指導してほしい旨を伝えました。担当者からは、「JR東海と連絡を取っていく」と回答されました。



私たちは、現場にある不安全を

解消するために進んでいきます！